

様似町 令和2年度 アイヌ政策推進交付金事業計画 変更内訳

1. 今回の変更事業

地域・産業振興事業

アイヌ関連資料の調査研究及び普及活用事業

2. 変更内容

他館所蔵の絵図「東蝦夷地シャマニ之景」には、蝦夷三官寺の一つである等澗院をはじめとした和人の施設とともに、アイヌと思われる人々による地曳き網漁や鹿猟の様子、クジラなどが描かれており、和人文化とアイヌ文化の接触という様似独自の歴史文化を示す当町にとって重要な歴史資料の一つである。

また、絵図右側には「大浦湾」との文字、中央部には大型船が係留している様子も描かれ、古くから寄港地として栄え、歩んできた当町にとって当資料はその象徴的なものであり、当町としての文化財価値は高い。

他にはない様似町のアイヌ文化と和人文化が織りなす独自文化の普及活用及び観光プロモーションには、絵図のような視覚的にわかりやすい資料が求められるが、歴史資料は文字資料が多く、説明を付記しても北海道の文化を熟知していない人たちには理解しがたい部分が多い。特に子どもや外国人観光客にとってその傾向は顕著である。

このことから、当町のアイヌ展示の拡充を図る中で、当町の歴史を視覚的に端的に理解し得る絵図「東蝦夷地シャマニ之景」の複製及びモバイルガイドを製作し、さらなるアイヌ文化の普及活用及び観光プロモーションを図る。

3. 変更増減額

1, 336千円（事業費）

4. 事業計画変更箇所

- ・「4 事業の概要 (2)」において、上記2. 変更内容を追記した。
- ・「5 アイヌ施策推進地域計画における記載 4-3」において、上記2. 変更内容を追記した。
- ・「6 事業の成果目標等 (2)」において、必要な修正を行った。
- ・「8 収支予算」、「9 経費の配分」及び「別表1 収支計画」において、上記3. 変更増減額を追記した。

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	様似町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興事業、地域・産業振興事業、コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ協会や民族文化保存会で所有している貴重なアイヌの伝統や文化に関する資料を次世代に確実に引き継ぐとともに、アイヌ伝統文化について町内をはじめ広く世界にPRすることによりアイヌのかたへの理解促進を図り、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現を目指す。
4 事業の概要	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>① アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 様似町 ○事業の実施場所 東様似生活館 ○委託先 映像製作会社 ○事業実施期間 交付決定～令和3年3月 ○事業の内容と考え方 <p>様似アイヌ協会及び民族文化保存会で保有しているアイヌ古式舞踊や当時のアイヌ古老から聴き取りを行った資料は、アイヌ文化の伝承と保存に非常に重要な資料となるが、ビデオテープ等のアナログ媒体で保管しているため、劣化し再生不能となるおそれがあることから、永く保存できるようデジタル化を行う。</p> <p>② アイヌ文化PR用動画の制作、公開、文化伝承用品の製作事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 様似町 ○事業の実施場所 東様似生活館 ○委託先 映像製作会社 ○事業実施期間 交付決定～令和3年3月 ○事業の内容と考え方 <p>様似民族文化保存会は、国により重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊の保護団体として認定されているが、その活動が町民に広く浸透しているとは必ずしも言えない。</p> <p>この状況を改善し、広くアイヌ文化を普及するため、アイヌ文化PR用動画、活動記録用動画を制作することとしており、令和2年度においてはその内容等について企画調査、構成・シナリオの検討を進めるとともに、現在の活動、舞踊等の撮影を実施する。</p> <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>① アポイ岳ジオパークビジターセンターアイヌ文化紹介設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 様似町 ○事業の実施場所 アポイ岳ジオパークビジターセンター ○事業の実施期間 交付決定～令和3年3月 ○事業の内容と考え方 <p>アポイ岳ジオパークビジターセンターは、様似町そしてアポイ岳ジオパークを楽しむ方が訪れる拠点施設である。町内にはプレート衝突等を起因とする特殊な地形などが多く、そこにアイヌ伝説やアイヌ語地名が現在も住民生活と密接につながり、脈々と息づいている。</p> <p>これらの場所は、観光客や児童生徒が訪れ、アイヌ文化と自然の関係などを実感できる「見どころ」となっている。</p> <p>本事業では、展示室内の導入部で活用されている地形模型ジオラマを刷新し、デジタルコンテンツを活用したプロジェクションマッピングを導入することで、アイヌ語地名やその由来等、アイヌ文化に関する情報発信ができるようになるとともに、地形模型上にデジタルコンテンツを投影できるため、地形とアイヌ</p>

	<p>伝説などの関係性をわかりやすく解説することができる。</p> <p>さらに、コンテンツの入れ替え可能な形態の展示物(デジタルサイネージ、展示パネル等)を複数追加することで、より多くのアイヌ文化に関する情報発信を行うことができる。</p> <p>② アイヌ関連資料の調査研究及び普及活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 様似町 ○事業の実施場所 様似郷土館 ○事業実施期間 交付決定の日～令和3年3月 ○事業の内容と考え方 <p>様似町は古くから和人文化とアイヌ文化が接触し独自の歴史文化を築いており、国指定重要文化財「蝦夷三官寺等澗院関係資料」や明治時代に書かれた様似郷土館所蔵「矢本家文書」など様似のアイヌと和人の生活を表す貴重な資料も多く残っている。</p> <p>また、他館所蔵の絵図「東蝦夷地シャマニ之景」では、等澗院や会所といった和人の施設とともに、アイヌと思われる人々が漁や鹿狩りを行っている情景が描かれ、和人文化とアイヌ文化の接触という様似独自の歴史文化を示す当町にとって重要な歴史資料の一つである。</p> <p>しかし、これまで様似町におけるアイヌと和人の関係史についてあまり研究が進んでおらず、他では見られない独自の関係性でありながらこれらの歴史についての普及活用は進んでいない。</p> <p>このことから、これらの資料の調査から得た新たな知見の活用を図るとともに、アイヌ民族の衣装や体験活動実施に必要な環境を整え、絵図「東蝦夷地シャマニ之景」のレプリカ複製など様似郷土館のアイヌ関連展示を拡充することにより、さらなるアイヌ文化の普及活用及び観光プロモーションの推進を図る。</p> <p>【令和2年度実施事業】</p> <p>(1) 資料調査及び各展示資料の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様似郷土館所蔵「矢本家文書」内アイヌ関係資料の調査研究 ・体験活動資料の製作及び運用 <p>(2) 様似郷土館アイヌ展示拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの正装展示資料を製作するなど郷土館内アイヌ文化関連展示の拡充 <p>(3) 絵図「東蝦夷地シャマニ之景」のレプリカ作製</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>■ アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業</p> <p>様似アイヌ協会及び民族文化保存会で保有しているアイヌ古式舞踊や当時のアイヌ古老から聴き取りを行った資料は、アイヌ文化の伝承と保存に非常に重要な資料となるが、ビデオテープ等のアナログ媒体で保管しているため、劣化し再生不能となるおそれがあることから、永く保存できるようデジタル化を行う。</p> <p>4-2 アイヌの伝承等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■ アイヌ文化 PR 用動画の制作、公開、文化伝承用品の製作事業</p> <p>様似民族文化保存会は、国により重要無形民俗文化財であるアイヌ古式舞踊の保護団体として認定されているが、その活動が町民に広く浸透しているとは必ずしも言えない状況であることから、この状況を改善する。</p> <p>また、広くアイヌ文化を普及するため、古式舞踊で活用する衣装を製作し舞踊用具の充実化を図り、4-1でデジタル化された映像及び新たな映像を撮影しアイヌ文化PR用動画を制作するとともに、2015年にユネスコ世界ジオパークとなったアポイ岳のジオパークビジターセンター及び郷土館等の施設での上映、学校教育や社会教育事業での活用、インターネットでの配信を通じ、町民はもとより国内外からの来訪者に広くアイヌ文化の普及啓発を図る。</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■ アポイ岳ジオパークビジターセンターアイヌ文化紹介設備改修事業</p> <p>アポイ岳ジオパークビジターセンターは、様似町そしてアポイ岳ジオパークを楽しむ方が訪れる拠点施設である。町内にはプレート衝突等を起因とする特殊</p>

	<p>な地形などが多く、そこにアイヌ伝説やアイヌ語地名が現在も住民生活と密接につながり、脈々と息づいている。</p> <p>これらの場所は、観光客や児童生徒が訪れ、アイヌ文化と自然の関係などを実感できる「見どころ」となっている。</p> <p>本事業では、展示室内の導入部で活用されている地形模型ジオラマを刷新し、デジタルコンテンツを活用したプロジェクションマッピングを導入することで、アイヌ語地名やその由来等、アイヌ文化に関する情報発信ができるようになるとともに、地形模型上にデジタルコンテンツを投影できるため、地形とアイヌ伝説などの関係性をわかりやすく解説することができる。</p> <p>さらに、コンテンツの入れ替え可能な形態の展示物(デジタルサイネージ、展示パネル等)を複数追加することで、より多くのアイヌ文化に関する情報発信を行うことができる。</p> <p>■ アイヌ関連資料の調査研究及び普及活用事業</p> <p>様似町は古くから和人文化とアイヌ文化が接触し独自の歴史文化を築いており、国指定重要文化財「蝦夷三官寺等澗院関係資料」や明治時代に書かれた様似郷土館所蔵「矢本家文書」など様似のアイヌと和人の生活を表す貴重な資料も多く残っている。</p> <p>また、他館所蔵の絵図「東蝦夷地シャマニ之景」では、等澗院や会所といった和人の施設とともに、アイヌと思われる人々が漁や鹿狩りを行っている情景が描かれ、和人文化とアイヌ文化の接触という様似独自の歴史文化を示す当町にとって重要な歴史資料の一つである。</p> <p>しかし、これまで様似町におけるアイヌと和人の関係史についてあまり研究が進んでおらず、他では見られない独自の関係性でありながらこれらの歴史についての普及活用は進んでいない。</p> <p>このことから、これらの資料の調査から得た新たな知見の活用を図るとともに、アイヌ民族の衣装や体験活動実施に必要な環境を整え、絵図「東蝦夷地シャマニ之景」のレプリカ複製及びモバイルガイドの新規作成など様似郷土館のアイヌ関連展示を拡充することにより、さらなるアイヌ文化の普及活用及び観光プロモーションの推進を図る。</p> <p>【令和2年度実施事業】</p> <p>(1) 資料調査及び各展示資料の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様似郷土館所蔵「矢本家文書」内アイヌ関係資料の調査研究 ・体験活動資料の製作及び運用 <p>(2) 様似郷土館アイヌ展示拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの正装展示資料を製作するなど郷土館内アイヌ文化関連展示の拡充 <p>(3) 絵図「東蝦夷地シャマニ之景」のレプリカ作製</p>
--	---

6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>① アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業</p> <p>ビデオテープ等のアナログ媒体は、再生機の販売停止により現在では再生困難ではあるが、資料のデジタル化により、伝承者が容易に過去の資料を利用できるようになり、伝承活動の充実が見込まれる。</p> <p>また、これらを一般向けの普及啓発活動に活用することにより、アイヌ文化と保存伝承活動に対する理解を深めることができる。</p> <p>② アイヌ文化PR用動画の制作、公開、文化伝承用品の製作事業</p> <p>PR用動画を制作し、ユネスコ世界ジオパークであるアポイ岳ジオパークビジターセンター及び様似郷土館で公開することは、アイヌ文化を町民をはじめ、世界にPRすることとなる。</p>

	<p>また、古式舞踊で活用する衣装の充実化を図ることで、町民はもとより国内外からの来訪者により一層の普及啓発を図ることができる。</p> <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>① アポイ岳ジオパークビジターセンターアイヌ文化紹介設備改修事業 アイヌ文化について、アポイ岳ジオパークビジターセンターを訪れる町内小中学生をはじめ、来訪者に正しく、そして具体的なイメージを持って理解いただくための事業であり、来訪者が増加するほど効果が高まると考えられる。</p> <p>② アイヌ関連資料の調査研究及び普及活用事業 事業の実施により、当町におけるアイヌ文化関連歴史資料の充実、企画展、報告会、ワークショップを通じたアイヌ文化の普及活用、郷土館改装によって郷土館に当町におけるアイヌ文化伝承施設としての役割を付加し、アイヌ文化の普及活用、観光プロモーションの推進を図る。また、製作した資料を利用した学校教育、生涯学習事業での利用なども想定され、継続的なアイヌ文化普及事業への利用が想定される。</p>
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1) 文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立様似図書館来館者数 (現状値) 令和元年度 9,170 人/年間 (中間目標) 令和4年度 9,400 人/年間 (最終目標) 令和6年度 9,500 人/年間 <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アポイ岳ジオパークビジターセンター来館者数 (現状値) 令和元年度 15,700 人/年間 (中間目標) 令和4年度 17,000 人/年間 (最終目標) 令和6年度 18,000 人/年間 ・様似郷土館来館者数 (現状値) 令和元年度 650 人/年間 (中間目標) 令和4年度 850 人/年間 (最終目標) 令和6年度 950 人/年間
<p>(3)成果目標の確認方法</p>	<p>各事業に設定しているKPIについては実績値を公表し、毎年度、様似アイヌ協会に対し目標の達成状況の検証、報告を行い、意見に基づき計画期間内の事業実施等に反映する。</p>
<p>7 地域の概要</p>	
<p>(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>様似町には古代より人が暮らしており、縄文時代の遺跡が各所で発見されている。それは、現在のアイヌ民族の先祖であると考えられる。古代よりアイヌ民族の先祖がこの地で生活を営み、豊かな文化をはぐくんできた。</p> <p>サマニという町名をはじめ、アポイ、エンルム、ホロマンなどの町内各地の地名の多くはアイヌ語を由来としており、親子岩やソビラ岩、冬島の穴岩など、町内沿岸地域の各所に巨大な奇岩があり、それぞれに興味深い伝説が残されている。</p> <p>様似町は北海道南部の日高地方に位置するが、その日高においてもアイヌ文化やアイヌ語に地域差が存在し、東部に位置する様似アイヌの文化や言語は独特の特徴を持っているといわれている。</p> <p>様似町は、早くには17世紀に金山が開かれ、本州からの和人が移り住んでいたとみられ、蝦夷三官寺の一つである等澍院が存在する町であるが、この町でもアイヌ民族は和人と接触しつつ、独自の歴史を営んできた。</p> <p>また、かんらん岩や高山植物で知られるアポイ岳は、世界ジオパークに登録されており、その名前はアイヌ民族の伝説に由来しており、その構成要素の中でアイヌ文化は重要な位置を占めている。</p> <p>このように様似町の歴史と風土はアイヌ民族と大きな関わりを持っている。</p> <p>そして、江戸時代の場所請負制や明治以降の開拓の歴史の中でアイヌ民族</p>

	<p>が苦難の歴史を歩んできたことは周知の事実であり、様似のアイヌ民族も例外ではなかった。</p> <p>近代の歴史の中で差別や偏見、社会的圧迫があつたにもかかわらず、様似においてもアイヌ文化はアイヌ民族の間に伝承されてきた。また、アイヌ民族による生活向上のための活動も行われてきた。</p> <p>戦後間もない昭和21年に設立された北海道アイヌ協会の支部が様似でも結成された(現在の様似アイヌ協会)。その後一時期活動が停滞したが、アイヌ民族の生活向上、復権、文化伝承のための取り組みが長年行われてきた。</p> <p>また、昭和58年には様似民族文化保存部会(その後の様似民族文化保存会)が設置され、伝統文化の伝承保存に取り組みを続け、国により重要無形民俗文化財である古式舞踊の保護団体として認定を受けている。保存会は北海道内外各地で、そして、海外でも古式舞踊を披露し、アイヌ文化の普及啓発に取り組んできた。</p> <p>様似町は日高管内でも小さい町でありながら、アイヌ民族の懸命な努力により大きな成果を生んできたということがいえる。</p> <p>なお、町としても生活館を活動拠点として設置し、担当職員の配置、アイヌ民族団体の活動に助成をするなどの支援を行ってきた。</p> <p>一方、かつて1万人以上を誇った町の人口も次第に減少し、現在は約4,200人に落ち込んでしまっているのが現状である。その中で将来のアイヌ文化の継承者となるべき人たちも生活のため町外に移り住み、少子化も相まって、民族団体の会員も高齢化が進んでおり、今後の活動の継続を危ぶむ声も出ている。</p> <p>また、全国的にアイヌ文化に対する関心が高まり、様似町においても認知が少しずつ進んでいるが、十分とはいえない。</p> <p>町としては、アイヌ民族の自主性を尊重し、その活動を引き続き支援しつつ、町全体がアイヌ民族やアイヌ文化を尊重する雰囲気を醸成していくことが必要であると考え。そのためのまちづくりをさらに進めることは重要であり、今回の新法の趣旨に合致することである。</p>
(2)施設等の管理運営体制	<p>東様似生活館、様似郷土館、アポイ岳ジオパークビジターセンター、様似町中央公民館及び町立様似図書館は様似町が管理している。</p>
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>様似アイヌ協会及び民族文化保存会とは定期的に意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1)収入の部

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度精算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	22,164,000	0	22,164,000	0
市町村負担額	5,542,000	0	5,542,000	0
計	27,706,000	0	27,706,000	0

(2)支出の部

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度精算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業	1,787,000	0	1,787,000	0
委託料	1,787,000	0	1,787,000	0
地域・産業振興事業	25,919,000	0	25,919,000	0
報償費	80,000	0	80,000	0
旅 費	210,000	0	210,000	0
需用費	500,000	0	500,000	0
委託料	16,265,000	0	16,265,000	0
備品購入費	8,864,000	0	8,864,000	0
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0

9 経費の配分(変更又は実績)

(1)経費の総括

年度	事業項目	全体 事業費 (A+B+C)	総事業費 (A+B)	負担区分		補助対象 外経費 (C)
				国庫 補助金 (A)	市町村 負担額 (B)	
全体 計画	I. 文化振興事業	47,599,000	47,599,000	38,079,000	9,520,000	0
	II. 地域・産業振興事業	31,446,000	31,446,000	25,155,000	6,291,000	0
	III. コミュニティ活動支援事業	13,816,000	13,816,000	11,052,000	2,764,000	0
	合計	92,861,000	92,861,000	74,286,000	18,575,000	0
(令和 一・二 年度)	I. 文化振興事業	1,787,000	1,787,000	1,430,000	357,000	0
	II. 地域・産業振興事業	25,919,000	25,919,000	20,734,000	5,185,000	0
	III. コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0	0
	合計	27,706,000	27,706,000	22,164,000	5,542,000	0
(令和 二・三 年度)	I. 文化振興事業	20,343,000	20,343,000	16,274,000	4,069,000	0
	II. 地域・産業振興事業	5,527,000	5,527,000	4,421,000	1,106,000	0
	III. コミュニティ活動支援事業	6,983,000	6,983,000	5,586,000	1,397,000	0
	合計	32,853,000	32,853,000	26,281,000	6,572,000	0
(令和 三・四 年度)	I. 文化振興事業	25,469,000	25,469,000	20,375,000	5,094,000	0
	II. 地域・産業振興事業	0	0	0	0	0
	III. コミュニティ活動支援事業	6,833,000	6,833,000	5,466,000	1,367,000	0
	合計	32,302,000	32,302,000	25,841,000	6,461,000	0
(令和 四・五 年度)	I. 文化振興事業	0	0	0	0	0
	II. 地域・産業振興事業	0	0	0	0	0
	III. コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0
(令和 五・六 年度)	I. 文化振興事業	0	0	0	0	0
	II. 地域・産業振興事業	0	0	0	0	0
	III. コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0

(2)文化振興事業

年度	事業項目	全体 事業費 (A+B+C)	総事業費 (A+B)	負担区分		補助対象 外経費 (C)
				国庫 補助金 (A)	市町村 負担額 (B)	
全体計画	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	987,000	987,000	789,000	198,000	0
	2. アイヌ文化 PR 用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	13,800,000	13,800,000	11,040,000	2,760,000	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	11,188,000	11,188,000	8,950,000	2,238,000	0
	4. 写真展開催事業	1,540,000	1,540,000	1,232,000	308,000	0
	5. トンコリ演奏会事業	2,000,000	2,000,000	1,600,000	400,000	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	18,084,000	18,084,000	14,467,000	3,617,000	0
	合計	47,599,000	47,599,000	38,078,000	9,521,000	0
(第一年度) 令和二年度	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	987,000	987,000	790,000	197,000	0
	2. アイヌ文化 PR 用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	800,000	800,000	640,000	160,000	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	0	0	0	0	0
	4. 写真展開催事業	0	0	0	0	0
	5. トンコリ演奏会事業	0	0	0	0	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	0	0	0	0	0
	合計	1,787,000	1,787,000	1,430,000	357,000	0
(第二年度) 令和三年度	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	0	0	0	0	0
	2. アイヌ文化 PR 用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	3,175,000	3,175,000	2,540,000	635,000	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	8,588,000	8,588,000	6,870,000	1,718,000	0
	4. 写真展開催事業	0	0	0	0	0
	5. トンコリ演奏会事業	0	0	0	0	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	8,580,000	8,580,000	6,864,000	1,716,000	0
	合計	20,343,000	20,343,000	16,274,000	4,069,000	0
(第三年度) 令和四年度	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	0	0	0	0	0
	2. アイヌ文化 PR 用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	9,825,000	9,825,000	7,860,000	1,965,000	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	2,600,000	2,600,000	2,080,000	520,000	0
	4. 写真展開催事業	1,540,000	1,540,000	1,232,000	308,000	0
	5. トンコリ演奏会事業	2,000,000	2,000,000	1,600,000	400,000	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	9,504,000	9,504,000	7,603,000	1,901,000	0
	合計	25,469,000	25,469,000	20,375,000	5,094,000	0

(第四年度) 令和五年度	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	0	0	0	0	0
	2. アイヌ文化PR用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	0	0	0	0	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	0	0	0	0	0
	4. 写真展開催事業	0	0	0	0	0
	5. トンコリ演奏会事業	0	0	0	0	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0
(第五年度) 令和六年度	1. アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業	0	0	0	0	0
	2. アイヌ文化PR用動画の制作、 公開、文化伝承用品の製作事業	0	0	0	0	0
	3. 熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業	0	0	0	0	0
	4. 写真展開催事業	0	0	0	0	0
	5. トンコリ演奏会事業	0	0	0	0	0
	6. 絵本・紙芝居・アニメーション制作事業	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0

(3) 地域・産業振興事業

年度	事業項目	全体 事業費 (A+B+C)	総事業費 (A+B)	負担区分		補助対象 外経費 (C)
				国庫 補助金 (A)	市町村 負担額 (B)	
全体計画	1. アポイ岳ジョパークビターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業	12,782,000	12,782,000	10,226,000	2,556,000	0
	2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業	18,664,000	18,664,000	14,929,000	3,735,000	0
	合 計	31,446,000	31,446,000	25,155,000	6,291,000	0
(第一年度) 令和二年度	1. アポイ岳ジョパークビターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業	12,782,000	12,782,000	10,226,000	2,556,000	0
	2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業	13,137,000	13,137,000	10,508,000	2,629,000	0
	合 計	25,919,000	25,919,000	20,734,000	5,185,000	0
(第二年度) 令和三年度	1. アポイ岳ジョパークビターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業	0	0	0	0	0
	2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業	5,527,000	5,527,000	4,421,000	1,106,000	0
	合 計	5,527,000	5,527,000	4,421,000	1,106,000	0

(第三年度) 令和四年度	1. アボイソパークビクターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業 2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業 合 計	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
(第四年度) 令和五年度	1. アボイソパークビクターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業 2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業 合 計	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
(第五年度) 令和六年度	1. アボイソパークビクターセンター アイヌ文化紹介設備改修事業 2. アイヌ関連資料の 調査研究及び普及活用事業 合 計	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0

(4)コミュニティ活動支援事業

年度	事業項目	全体 事業費 (A+B+C)	総事業費 (A+B)	負担区分		補助対象 外経費 (C)
				国庫 補助金 (A)	市町村 負担額 (B)	
全体計画	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業 合 計	13,816,000 13,816,000	13,816,000 13,816,000	11,052,000 11,052,000	2,764,000 2,764,000	0 0
(第一年度) 令和二年度	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業 合 計	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
(第二年度) 令和三年度	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業 合 計	6,983,000 6,983,000	6,983,000 6,983,000	5,586,000 5,586,000	1,397,000 1,397,000	0 0
(第三年度) 令和四年度	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業 合 計	6,833,000 6,833,000	6,833,000 6,833,000	5,466,000 5,466,000	1,367,000 1,367,000	0 0

令和五年度 (第四年度)	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0
令和六年度 (第五年度)	1. 台湾原住民族との 交流・研修事業	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0